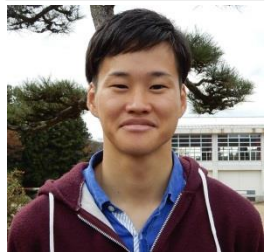


活動内容 「農家交流を通じて都市部の若者を呼び込み、大内のファンを増やす」

大内農業新聞

大内の農業をPR 大内のファンを増やすっぺ〜

第28号



大内地区
地域おこし協力隊

三浦 昌志

令和2年
3月15日発行

今月の小言

実習生と標準語を話し
改めて大内弁の方が
好きな口調だと感じた」

大学生実習

2月11日〜3月8日まで母校の大学から1年生の塚本さん、橋本さん、福山さん、中館さんが2週間ずつ滞在しながら実習を行いました。地域おこしや田舎に興味がある人達だったため、色々な方と合わせて丸森町の良さや課題点を見つけてもらい、それに対する企画案も考えてもらいました。任期終了後も大学と繋がれるように大学側に相談をしていきたいと思えます。これからも丸森町と関わってくれる若い方と、大内のファンを増やしていけるように活動を行っていきます。宿泊や交流をして頂いた皆さん、本当にありがとうございました。

前半組 質問



前半組 地織体験



後半組 子供と交流



後半組 農作業



前半組 ホームステイ



後半組 ホームステイ

ホームページに載せた写真



元気の種まき講演会
(2/11)



世代間交流のつどい
(2/13)



下町お茶のみ会
(2/21)



下町健康運動教室
(3/3)

子どものあそび場

3月1日、げんまる大内スプリングフェスティバルのイベントが中止になってしまいましたが、大内みらい屋さん主催で子どものあそび場が開催されました。男の子は薪割り、火おこしなどを行い、女の子はそらの和さんからひな祭りや女の子の話などを聞いて勉強をしていました。その後はチラシ寿司、お吸い物、甘酒を頂きました。子供達は甘酒を飲んで美味しくないと
 言っていました。
 た。コロナウ
 イルスの影響
 で子供達は少
 なかったです
 が、参加した
 子供達は皆さ
 ん楽しんでい
 ました。



感想・目標

2月は実習生対応を
 行っていました。コロナ
 ウイルスの影響でイベン
 トの中止等がありスケ
 ジュールが二転三転して
 大変でした。それでも大
 学生に丸森町を知って
 らい、気に入ってもらえ
 るように努めました。
 3月は来年度に向けた
 準備や任期終了後(残り
 約7ヶ月)に向けて事業
 を考えていきます。大内
 に残って仕事を行うには
 どうすれば良いか
 どうか考えていきます。

情報募集中(まちセンにお電話下さい)

- ・気軽に話をしてくれる方
 - ・小さな困りごとがあり、解決してほしい方
- ～気軽に三浦までご連絡下さい(79-2004)～

今月の目標

1. 来年度に向けた準備をする
2. 任期終了後に向けた準備をする
3. コロナウイルスと花粉に負けない